

# 茨南だより

## 令和5年度学びのイノベーション

### (小学校・国語) 第2回授業公開

実証研究校であるつくばみらい市立豊小学校では、「言葉を大切にしながら読み、自分の考えや感想を表現する力を育成する国語科学習指導の在り方」という研究主題のもと、研究を進めてきました。

11月17日(金)には、1・2・3年生(3年は非公開)の授業公開をしました。特に一人一台端末を活用したスタディログの充実、授業と家庭をつなげるシームレスな学びについて、提案性の高い取組が見られ、高学年へと系統的につなげていくヒントが得られる研修となりました。



### (中学校・数学) 第2回授業公開

牛久市立ひたち野うしく中学校では、研究主題を「数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う学習指導の在り方 ～他者とのつながりを大切に、論理的に説明し伝え合う活動を通して～」と設定し、研究を深めました。

12月19日(火)には、2年生「三角形」3年生「三平方の定理」の授業公開をしました。単元を通じたデザインの基、具体物や図と関連付けて他者に説明する場を設定し、授業と家庭をつなげるシームレスな学びを実践していました。



両校共に第1回での講師指導や授業反省を踏まえ、第2回の授業発表会に向けて指導案検討などの準備を進めてブラッシュアップしていきました。

この後、第3回目の授業研究も進めていきます。

## オンライン学習による日本語支援充実事業(筑波大との連携)

### 筑波大との連携校

【石岡市立府中中学校、八郷中学校、龍ヶ崎市立長山中学校、城西中学校、城ノ内中学校、つくば市立大穂中学校、守谷市立守谷中学校、阿見町立朝日中学校、河内町立かわち学園】

県グローバル・サポート事業の一環として、筑波大学と連携し、日本語指導を必要とする生徒のためのオンラインによる支援を行っています。今年度も支援の必要な生徒が増え、上記9の学校に在籍する18名が支援を受けています。

支援にあたっては、筑波大学の日本語コーディネーターが中心となってカリキュラムを編成し、学生(日本語サポーター)が、それぞれの生徒に取り出し型の指導をしています。対象となる生徒の日本語能力について、各学校の教員がアセスメントを実施し、その結果に基づいて必要な支援が進められるよう、学校とサポーター間で情報を共有し、課題を協議しながら取り組んでいます。

生徒は、実際の場面で日本語を使ってコミュニケーションが図れ、教室での授業で少しずつ学力向上が目指せるよう、積極的に日本語学習に取り組んでいます。



## 授業力アップサポート訪問（外国語）



この事業は、グローバル化に対応できる人財育成を推進するために、市町村教育委員会と連携しながら外国語教育の充実を図ることが目的です。

今年度は、土浦市立土浦第六中学校、稲敷市立江戸崎中学校、守谷市立守谷中学校、かすみがうら市立霞ヶ浦中学校、美浦村立美浦中学校の5校が実践を発表しました。

各校では、様々なコミュニケーション場面が設定され、熱心に活動に取り組む生徒の姿がたくさん見られました。

## 小中学校における遠隔教育実証研究事業 ピンポイント型プログラミング 【高度な専門性をもつ人材による遠隔授業】

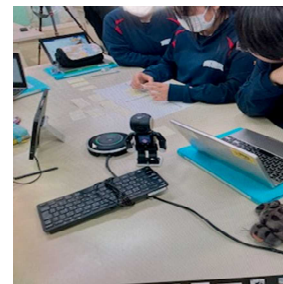
### つくば市【配信校:常磐大学から 配信校:荃崎中学校へ】

9月19日(火) 荃崎中学校では、常磐大学の先生が授業を配信し、生徒はロボホンのセンサーを活用して、消費者に寄り添ったプログラム(商品)を制作することができました。授業を通して、「友達と話し合い、意見を参考にしながら取り組むことができた」と回答する生徒が増えました。



### つくば市【配信校:茨城大学から 配信校:高崎中学校へ】

12月12日(火) 高崎中学校のアドバンスクラスでは、茨城大学の先生が授業を配信し、生徒はロボホンのセンサーを活用して、実生活に役立つプログラムを制作することができました。授業では、TFabTileでの画面共有とサウンドマイクを設置して、専門人材からのアドバイスが得られる環境を整備し、参観したつくば市の先生から「生徒は生き生きと活動していた」との声が聞かれました。



## いばらきサイエンスキッズ育成事業

### 「小学校における理科専科教員等による授業公開」に係るモデル校公開授業

#### ★つくば市立二の宮小学校：理科★

10月13日(金)に、第5学年理科を担当している片山大輝教諭による、「植物の実や種子の作り方」の授業を公開していただきました。二の宮小学校では「他者と関わり合い、主体的に課題解決できる児童の育成 一学びがいがあがる授業展開の工夫を通して」という研究テーマのもと、児童の学びに対する意欲を引き出す学習課題の工夫や、児童の考えや意見をつなぎ、広げ深める指導の工夫を日頃から実践しています。

公開授業は、様々な花についてアサガオと比較しながら観察し、気付いたことを自分の言葉でまとめ、交流する活動でした。課題に対する意欲を高めるため、アサガオ以外の花が数種類用意されており、児童はその中から一つ選んで観察を行いました。観察で気付いた共通点や相違点は、ネットワーク上に用意されたベン図に各自が入力していき、また振り返りについても共有されたシートに入力していくため、互いの考えをリアルタイムで共有し、画面を見ながら対話をしている姿が印象的でした。参観後の研究協議では、課題意識をもたせるための工夫やICT機器を有効に活用した児童同士の学びの交流について、片山先生の実践を基に、熱心な意見交換がなされました。今後の理科授業の改善につながる有意義なモデル校公開授業研究会となりました。



研究に取り組んでいただいた学校の皆様、実践していただいた先生方、ありがとうございました。

